

【プレゼンテーション資料】

2011年度 経営方針説明会

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社

2011年9月9日

免責事項:

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況などに関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、現在入手可能な情報から得られた当社グループの経営者の判断にもとづいています。実際の業績は、様々なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しに依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社グループが将来の見通しを見直すとは限りません。当社グループはいずれもそのような見直しの義務を負いません。また、このプレゼンテーション資料は日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものではありません。

本日の流れ（10:00～11:30予定）

■ プレゼンテーション

ソニーフィナンシャルホールディングス 代表取締役社長 井原 勝美

■ 質疑応答

ソニーフィナンシャルホールディングス 代表取締役社長 井原 勝美
取締役 渡辺 寛敏

ソニー生命保険 取締役執行役員専務 小泉 光廣

ソニー損害保険 代表取締役社長 山本 真一

ソニー銀行 代表取締役社長 石井 茂

プレゼンテーション

S F Hグループの中期事業展開

経営基盤の安定性と継続的成長の実現

- 今後も主要3事業のトップラインは拡大。
(連結経常収益はFY13にかけて年率6%超の成長。)
- 有価証券売却益減少による利益減はFY11で底打ち、
利益指標はFY13にかけて年率10%超の成長へ。
- 財務健全性を維持しつつ、
高い資本効率性(連結修正ROE: FY13目標 7%台後半)の実現を図る。

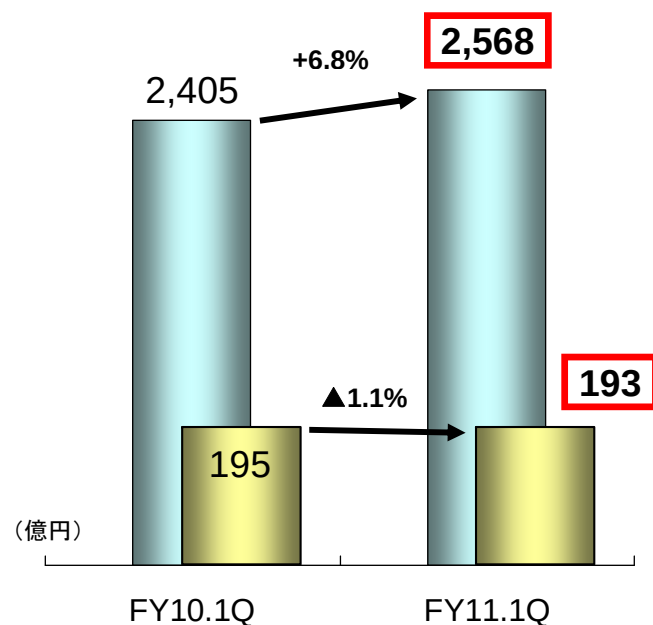
2011年度第1四半期レビュー

2011年度第1四半期レビュー

- ✓ 連結業績は前年同期に比べ、経常収益は増加、経常利益はほぼ横ばい。
東日本大震災の影響は軽微。
- ✓ 生命保険事業は、主力の死亡保障性商品、および、生前給付保険や介護保険を中心とした第三分野商品の好調な販売により、保有契約高は成長を継続。
- ✓ 損害保険事業では、契約獲得が順調に推移。
昨年上昇傾向にあった損害率は、当第1四半期では低下傾向。
- ✓ 銀行事業は、低金利の厳しい経営環境の中においても、住宅ローンの順調な積み上がりとともに、利ざやは改善傾向。

2011年度第1四半期レビュー

■ 経常収益 ■ 経常利益



		(億円)	FY10.1Q	FY11.1Q	前年同期比	
生命保険事業	経常収益		2,141	2,293	+151	+7.1%
	経常利益		185	176	▲9	▲4.9%
損害保険事業	経常収益		190	204	+14	+7.4%
	経常利益		4	7	+3	+67.7%
銀行事業	経常収益		77	74	▲3	▲4.0%
	経常利益		5	8	+3	+74.8%
セグメント間取引等の消去*1	経常収益		▲4	▲4	▲0	+7.5%
	経常利益		0	0	+0	+17.2%
SFHG連結	経常収益		2,405	2,568	+162	+6.8%
	経常利益		195	193	▲2	▲1.1%
	四半期純利益		103	108	+5	+4.9%

		(億円)	10.6末	11.3末	11.6末	前年度末比	
SFHG連結	総資産		60,854	65,971	67,056	+1,084	+1.6%
	純資産		2,830	2,948	3,096	+147	+5.0%

*1 経常利益については、主として持株会社(SFH)にかかる損益

*2 包括利益: FY10.1Q …201億円、FY11.1Q …234億円

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

2011年度連結業績予想

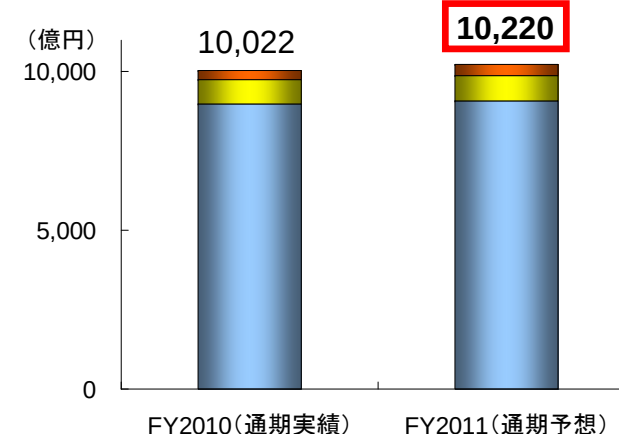
■ 通期予想は期初開示数値から修正なし

(億円)	FY2010 (通期実績)	FY2011 (通期予想)	増減率 FY10 vs FY11(通期)
連結経常収益	10,022	10,220	+2.0%
うち生命保険事業	9,003	9,093	+1.0%
うち損害保険事業	741	804	+8.4%
うち銀行事業	295	328	+11.0%
連結経常利益	768	590	▲23.2%
うち生命保険事業	721	530	▲26.6%
うち損害保険事業	21	26	+21.2%
うち銀行事業	24	41	+70.3%
連結当期純利益	417	290	▲30.5%

(注) 実績値の金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示。

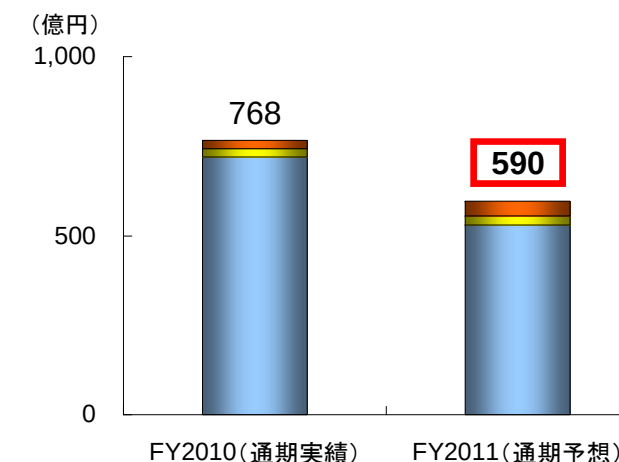
連結経常収益

■ 生保事業 ■ 損保事業 ■ 銀行事業



連結経常利益

■ 生保事業 ■ 損保事業 ■ 銀行事業



各社「成長の柱」と「中期目標」

既存チャネル強化

- ・ ライフプランナー：高資質なチャネルの維持・拡大
- ・ 代理店：多様な代理店との連携による業容拡大

シニアマーケット への取り組み

- ・ 成長市場の確実な捕捉
- ・ シニア層に適合した商品やサービスの開発・推進

オペレーション改革

- ・ ペーパーレス化とIT武装による
業務効率化と顧客サービスの向上

資産の安全性・ ALM

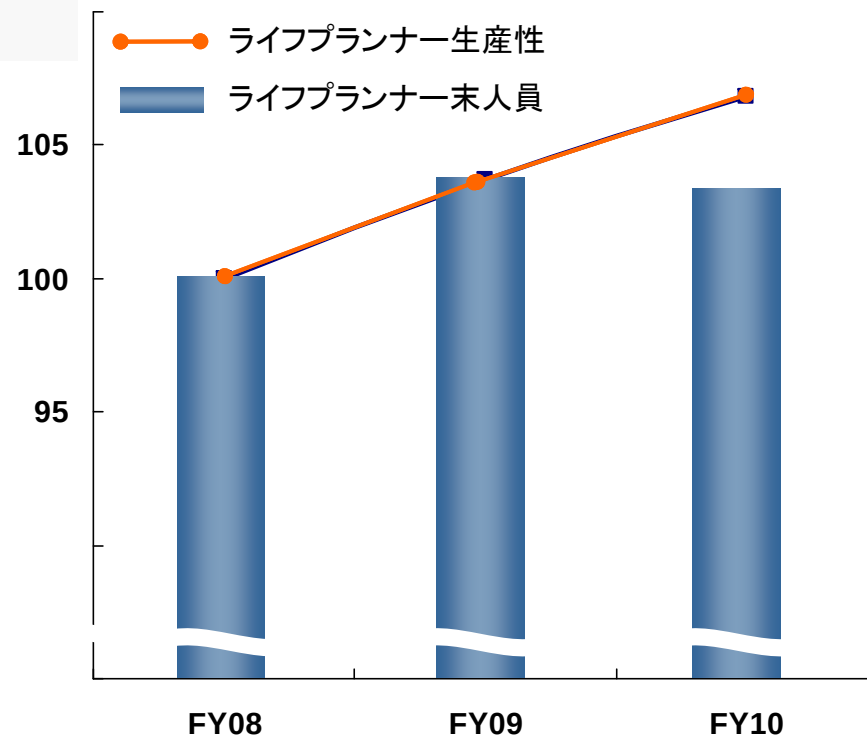
- ・ MCEVの安定成長を企図、
株価下落や金利低下に強いポートフォリオ構築

ソニー生命：ライフプランナーチャネル

- ライフプランナーの採用強化と生産性の向上を通じて、高資質なチャネルの維持・拡大を図る

ライフプランナーの生産性と末人員の推移

FY08を100とした場合



採用・育成の強化

採用基準の厳格化

採用を担う営業所長登用の促進

新人を育成するためのプロセス強化

生産性の向上

ライフプランニングの高度化を通じた
コンサルティングセールスの強化

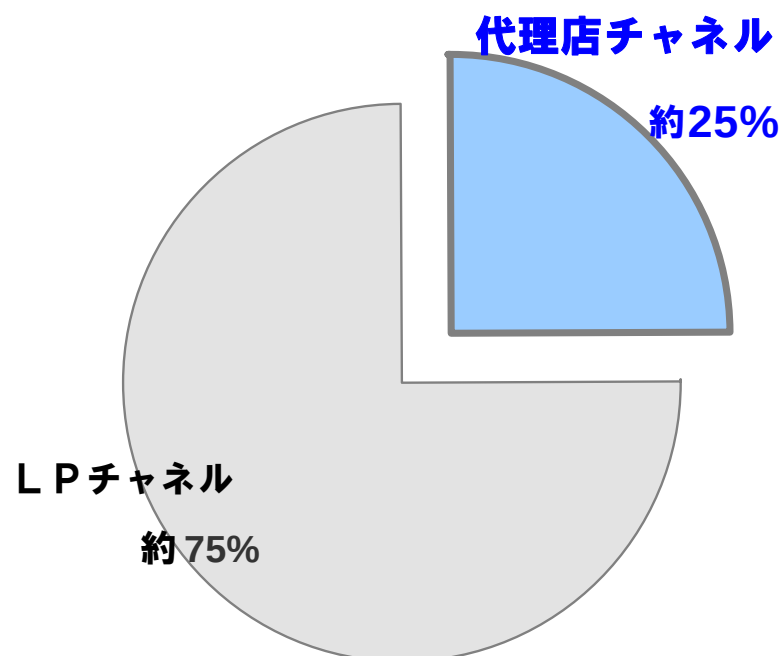
アフターフォロー強化による
最適な保障の提供、ニーズ変化の捕捉

ソニー生命：代理店チャネル

- ソニー生命内シェアの約25%を占める。顧客ニード・接点の多様化にあわせ、代理店との連携を拡大、更なる強化を図る

新契約高（個保・個年）チャネル別占率

（FY10）



多様な代理店との連携

中核となる代理店との連携強化

生保プロ代理店

広域来店型代理店

地域密着型代理店

新たな代理店モデルへの取り組み

企業系代理店

直営代理店

銀行代理店

ソニー生命：シニアマーケットへの取り組み



- 成長が見込まれるシニア市場を確実に捕捉する為、シニア向けライフプランニングの確立と、よりシニアニーズに特化したサービス・商品の拡充を実施・検討

シニアマーケットのニーズを組み込んだ シニア向けライフプランニングの確立と推進

シニアライフに必要な4つのお金

暮らす

「衣・食・住など、暮らすために必要なお金」

楽しむ

「趣味など、充実した毎日を過ごすためのお金」

備える

「三大疾病や介護などの出費に備えるお金」

のこす

「大切な人にのこしたいお金」

ふやす

「当面使う予定がないお金は、リスク許容度に応じて運用」

シニアマーケットのニーズに合致する サービス・商品の拡充

生命保険商品

終身保険

養老保険

総合医療保険
生前給付保険
がん保険

終身介護保険
など

+

ソニーライフ・エイゴンを通じた 年金商品の拡充



ワタミとの提携等、生命保険商品に留まらない 新たなサービスの拡充・提供



特定非営利活動法人
遺言・相続リーガルネットワーク

グループ間連携による多様な シニア向け商品・サービスの提供（将来の可能性）

MONEYKit.



ソニー生命：オペレーション改革

- 2012年に新たな営業支援システムをリリースし、ペーパーレス化とIT武装による業務効率化と顧客サービスの向上を実現

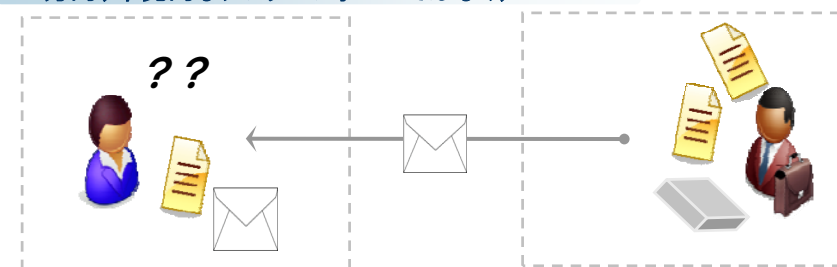
ペーパーレス化による物流改革

従来の枚数が多く煩雑な事務処理を...

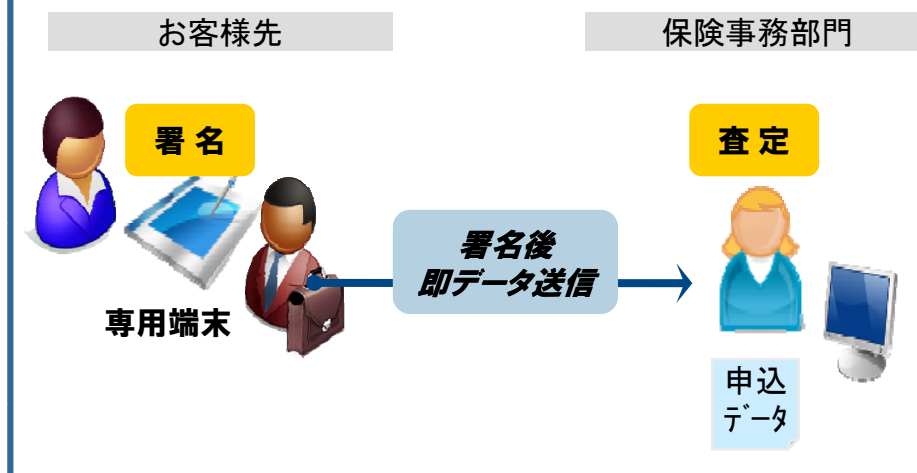


顧客情報管理による生涯マーケティングの実現

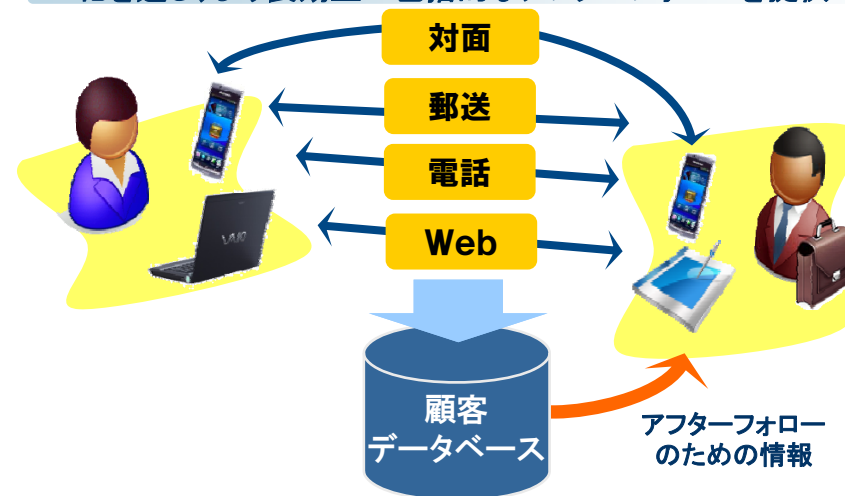
一方的、単発的なアフターフォローではなく、



電子化・ペーパーレス化で効率改善を実施



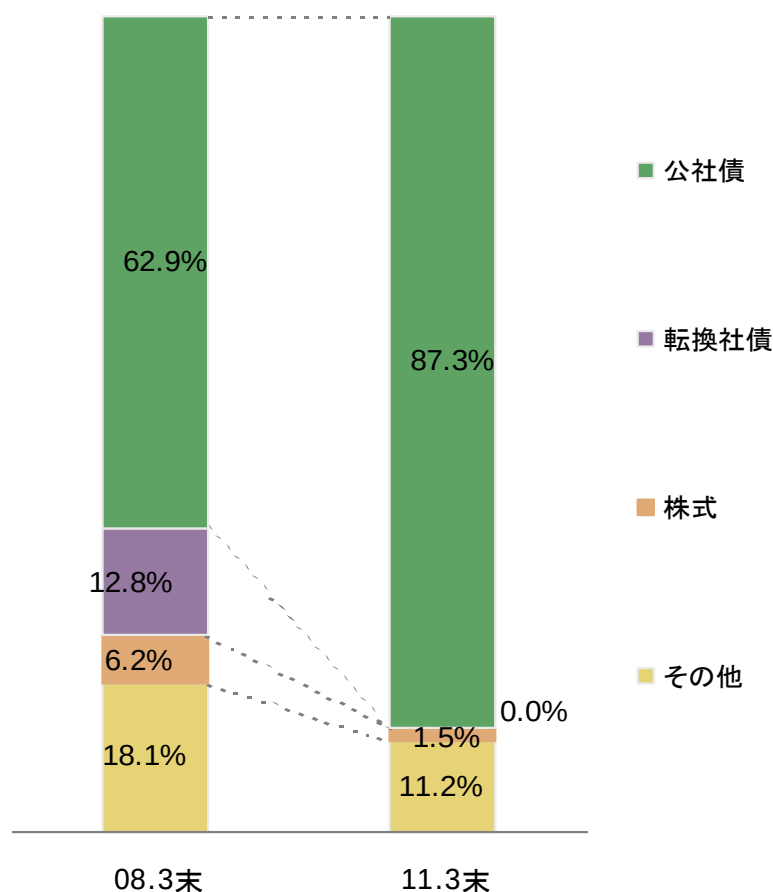
IT化を通じ、より長期且つ包括的なアフターフォローを提供



ソニー生命：資産の安全性・ALM

- MCEVの安定成長を企図、株価下落や金利低下に強いポートフォリオを構築

一般勘定資産構成比



MCEVの感応度

2008年3月末 MCEV 8,165億円

金利・株価の変動	MCEVの変化率
金利100bp低下	▲35%
株式・不動産時価10%下落	▲4%



2011年3月末 MCEV 8,536億円

金利・株価の変動	MCEVの変化率
金利100bp低下	▲13%
株式・不動産時価10%下落	▲2%

※金利変動はSWAPベース

ソニー生命 中期目標

	FY2010末 (実績)		FY2013末 (中期計画)
保有契約高 (個人保険・個人年金保険)	34.7 兆円		39兆円
MCEV ※ソニー生命単体、割引率は国債利回りを使用	9,000 億円超		1.1兆円超
ライフプランナー在籍数	4,017 名		4,300 名

ダイレクト損保市場 をリード

- ・ 拡大を続けるダイレクト損保市場において揺るぎないポジションを確立

優れた収益性

- ・ ダイレクト損保ならではの低事業費率
- ・ 当社独自のリスク細分による低損害率

高い顧客満足度

- ・ 顧客満足度の外部評価では常に上位を獲得
- ・ 顧客満足度向上に向けたサービス品質の改善

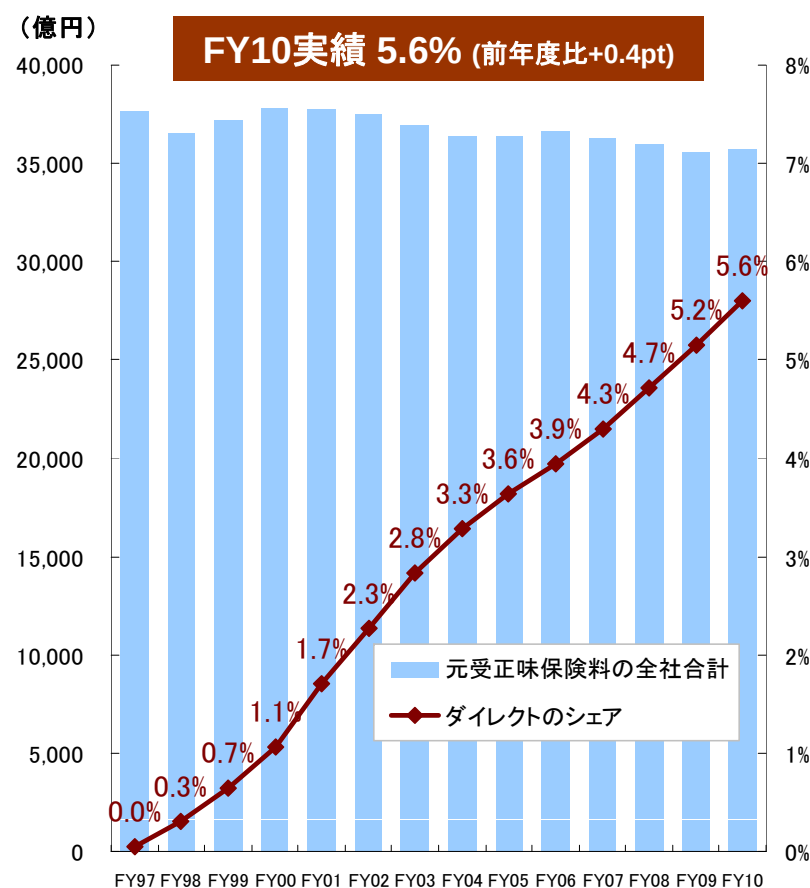
ウェブの有効活用 ・ 機能拡充

- ・ ウェブおよびモバイル経由の契約拡大
- ・ システム再構築により、ウェブ機能の拡充やシステム保守効率の向上を実現
- ・ モバイル対応の強化により契約プロセスを充実

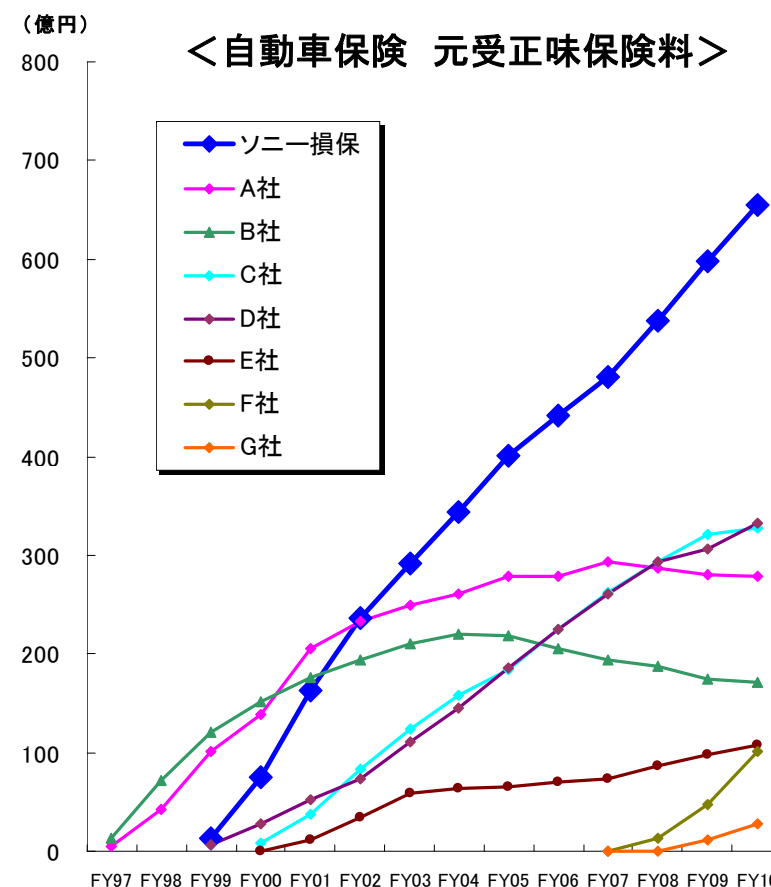
ソニー損保：ダイレクト損保市場をリード

■ 拡大を続けるダイレクト損保市場において揺るぎないポジションを確立

自動車保険マーケットとダイレクト社のシェア



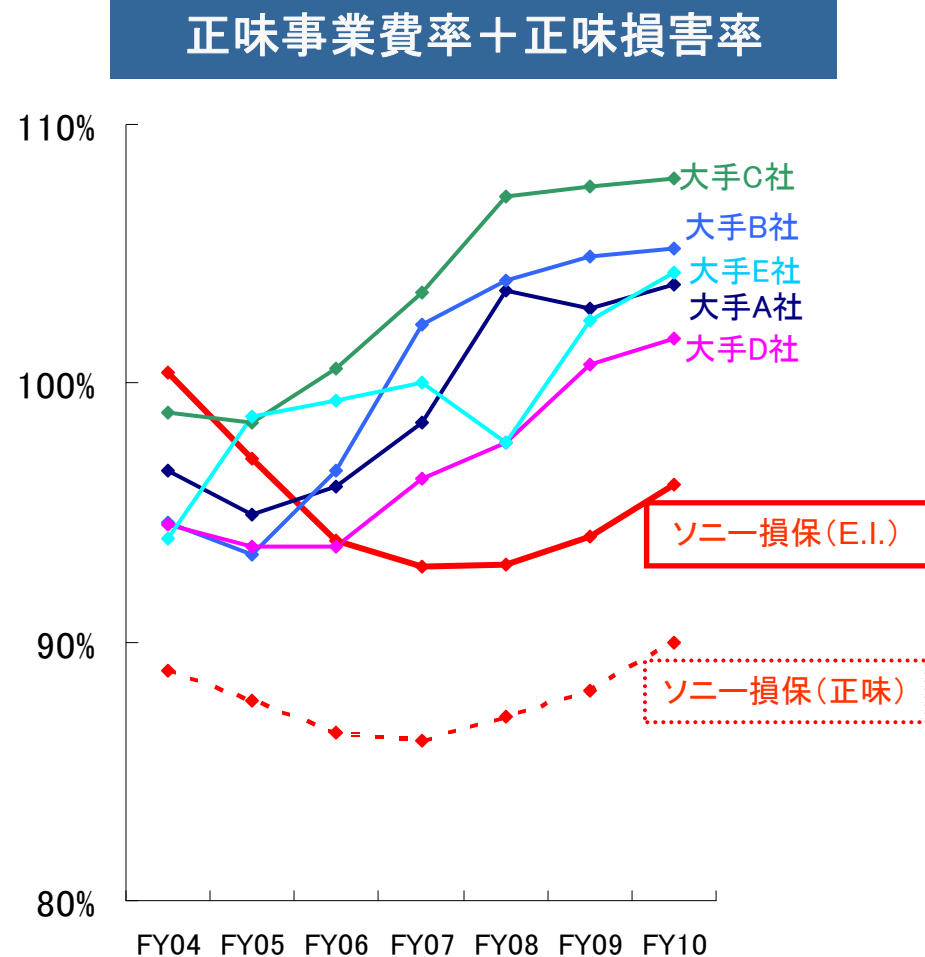
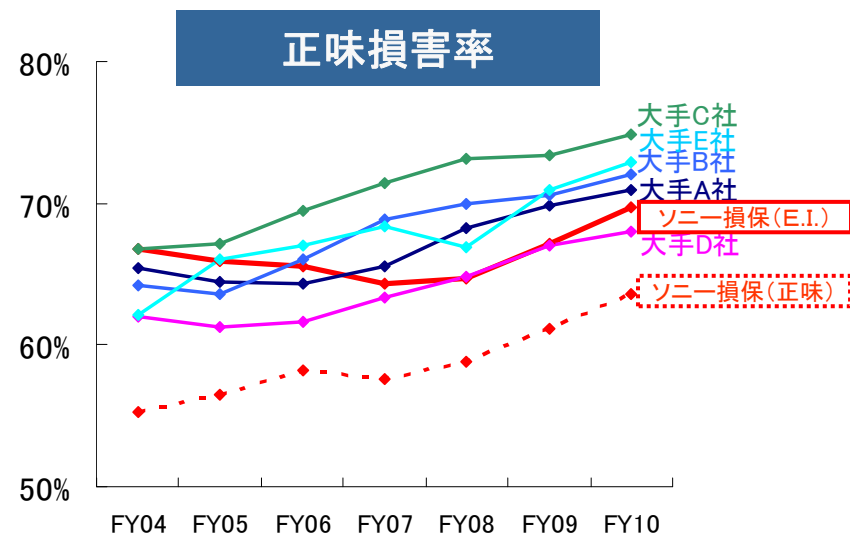
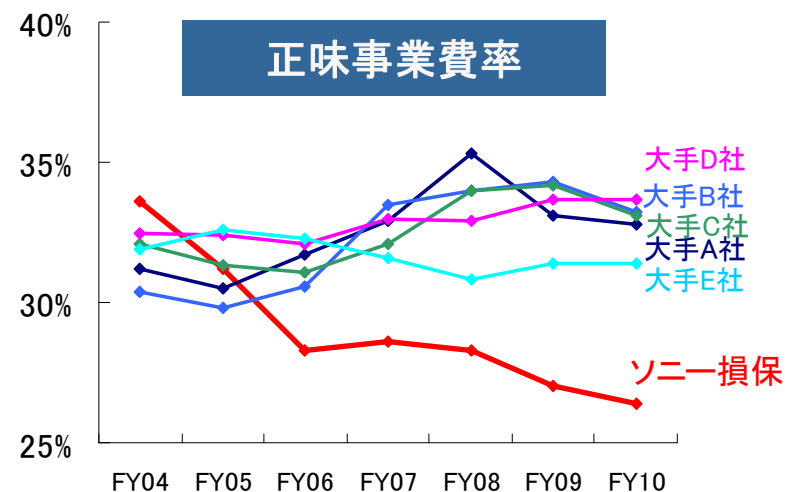
ダイレクト各社の推移



(各社公表資料より作成)

ソニー損保：優れた収益性

■「ダイレクト損保」ならではの低事業費率、当社独自のリスク細分による低損害率



(各社公表資料より作成、すべて自動車保険の数値)

ソニー損保：高い顧客満足度

■ 顧客満足度の外部評価では常に上位を獲得



『日経ビジネス』2011年7月25日号「2011年版アフターサービス満足度ランキング」 保険部門 自動車保険 第1位



サービス産業生産性協議会 2010年度 日本版顧客満足度指数 損害保険業界 自動車保険 第1位



オリコン 2011年度版 顧客満足度ランキング 自動車保険総合 第1位



J.D.パワー 2011年日本自動車保険 顧客満足度 ダイレクト系 第2位 / 事故対応満足度 第3位



ヘルプデスク協会 2010年「問合せ窓口格付け」調査 三ツ星評価(損害保険ではソニー損保1社のみ)

■ 顧客満足度向上に向けたサービス品質の改善

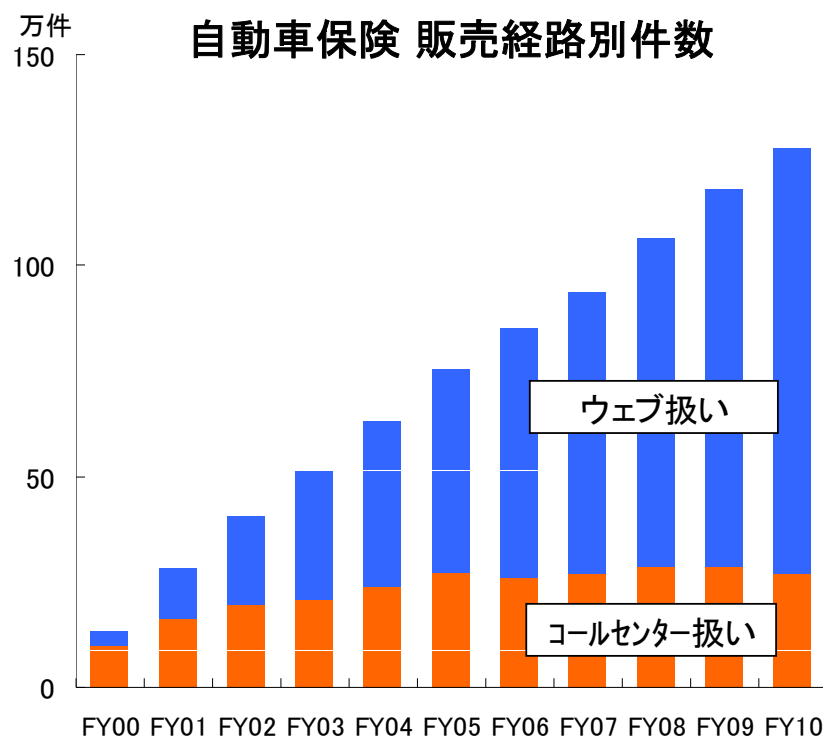
- ・「お客様の声」に応えるサービスと「不満ゼロへの挑戦」
- ・ダイレクト損保初の ISO10002 自己適合宣言

The screenshot displays the Sony Insurance website. The top section, titled 'お客様の声への対応事例' (Response Examples for Customer Voice), explains the process of handling customer feedback. Below this, the 'お客様とソニー損保のコミュニケーションサイト' (Communication Site for Customers and Sony Insurance) is shown, featuring a navigation bar with links like 'サイトマップ', 'お客様の評価', 'お客様の声', '不満ゼロへの挑戦', and '保険プロムナード'. The main content area is divided into two columns. The left column, 'お客様の声について' (About Customer Voice), lists various customer feedback examples, such as '奈良県在住の30代女性のお客様の声' (Voice of a 30-year-old female customer from Nara Prefecture) and '兵庫県在住の40代男性のお客様の声' (Voice of a 40-year-old male customer from Hyogo Prefecture). The right column, 'お客様の声絞込み: 東京' (Customer Voice Filtering: Tokyo), provides a detailed breakdown of feedback by category, region, gender, and age, including specific examples of customer concerns and the company's responses.

ソニー損保：ウェブの有効活用・機能拡充

- ウェブおよびモバイル経由の契約拡大
- システム再構築により、ウェブ機能の拡充やシステム保守効率の向上を実現
- モバイル対応の強化により契約プロセスを充実

ウェブ経由の契約拡大



モバイル対応強化

スマートフォンユーザー向け機能拡充



ソニー損保 アプリの提供



クルマでお出かけ、まさかの時に
トラブルナビ

交通事故をサポート

車の故障・トラブルをサポート

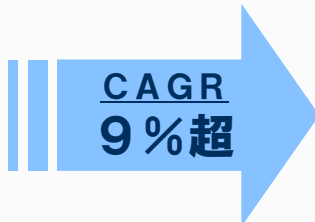


“やさしい運転”のアシスタント
ドライバーズナビ

安全運転をサポート

燃費・メンテをサポート

ソニー損保 中期目標

	FY2010 (実績)		FY2013 (中期計画)
元受正味保険料	728 億円		947 億円
正味事業費率＋ E.I.損害率(全種目)	95. 2 %		93. 0 %
経常利益	21. 4 億円		43 億円

高い顧客満足度を 原動力とした業容成長

- ・顧客満足度のさらなる追求
- ・リテールバランス成長に合わせ、業務粗利益を拡大

戦略商品の一層の強化

- ・通貨拡充等により「外貨のソニー銀行」を磐石化
- ・住宅ローンは商品性とチャネルの強化を加速

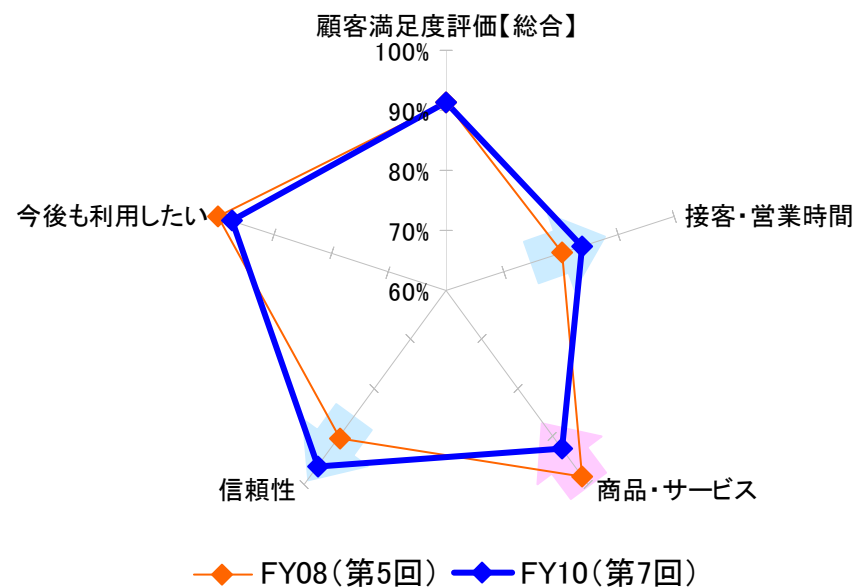
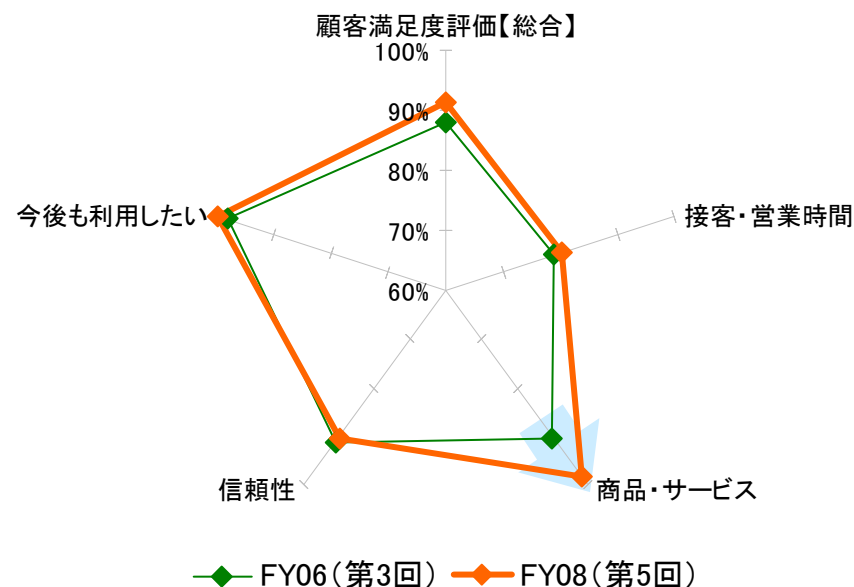
収益力の強化

- ・低コスト構造のビジネスモデルを活かし、バランスシートの拡大による収益拡大を追求

ソニー銀行：顧客満足度のさらなる追求

顧客満足度の構成要素推移

～ 日経金融機関ランキング 4年連続1位 ～



※日本経済新聞社調査の金融機関ランキング「顧客満足度調査」(三大都市圏)より作成。

《 2006年度 → 2008年度 》

商品・サービスの強化で、1位獲得

- 幅広い品揃えの整備を主因に、**2007年度から顧客満足度1位を獲得。**

《 2008年度 → 2010年度 》

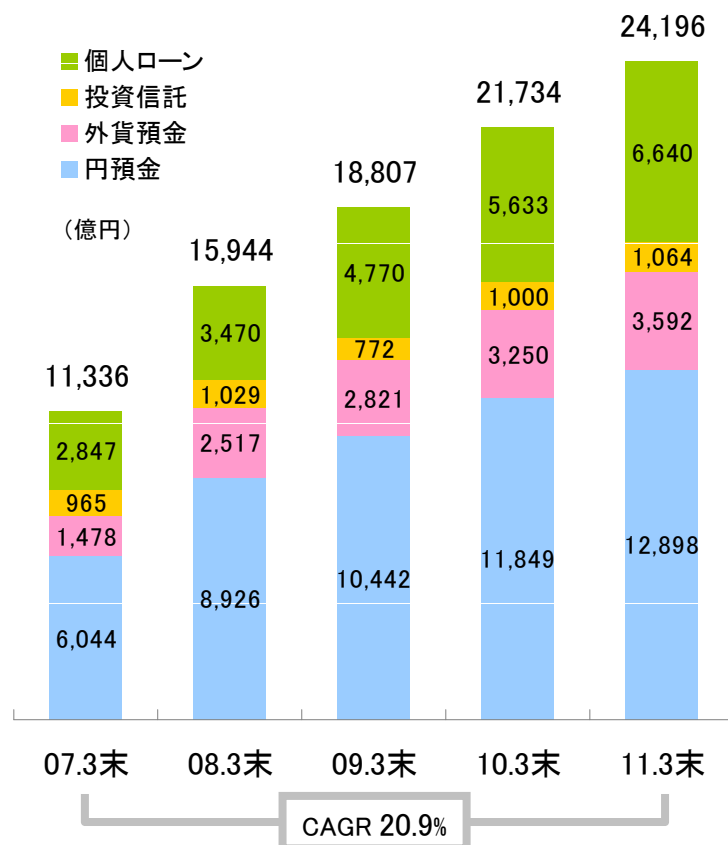
信頼の獲得により、4年連続1位

- 住宅ローンプラザ開設、カスタマーセンター時間延長等、顧客対応・信頼性強化による**満足度1位の維持。**
- 今後は商品性向上に再注力

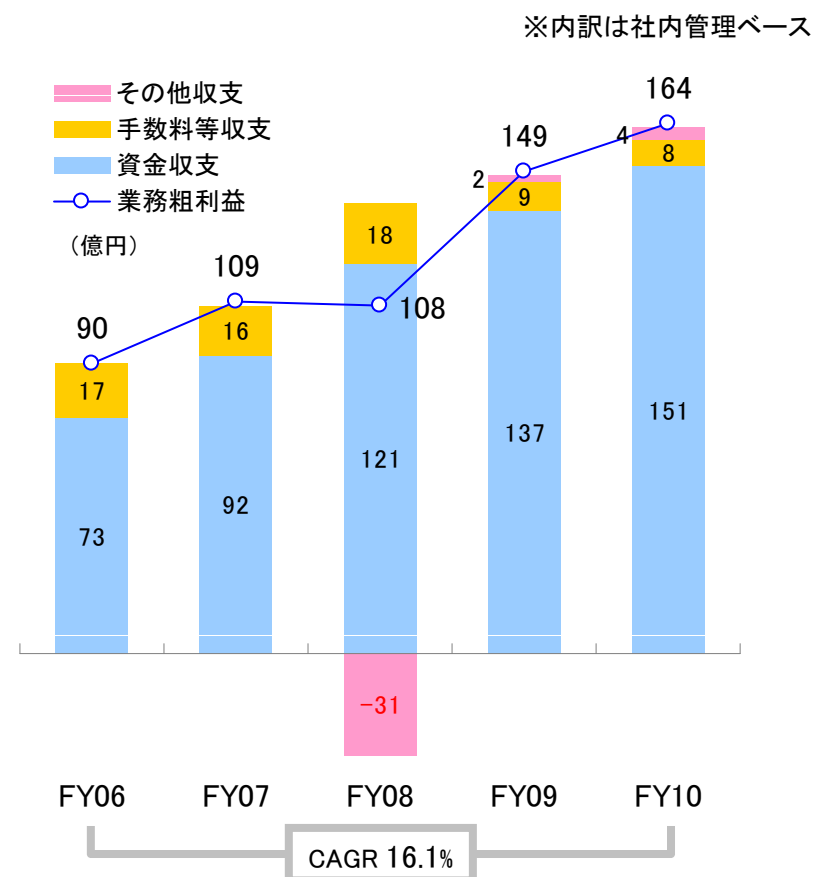
ソニー銀行：業容（リテールバランス）の成長

■ リテールバランスのリニアな成長と、それに伴うトップライン（業務粗利益）の拡大

リテールバランスの推移



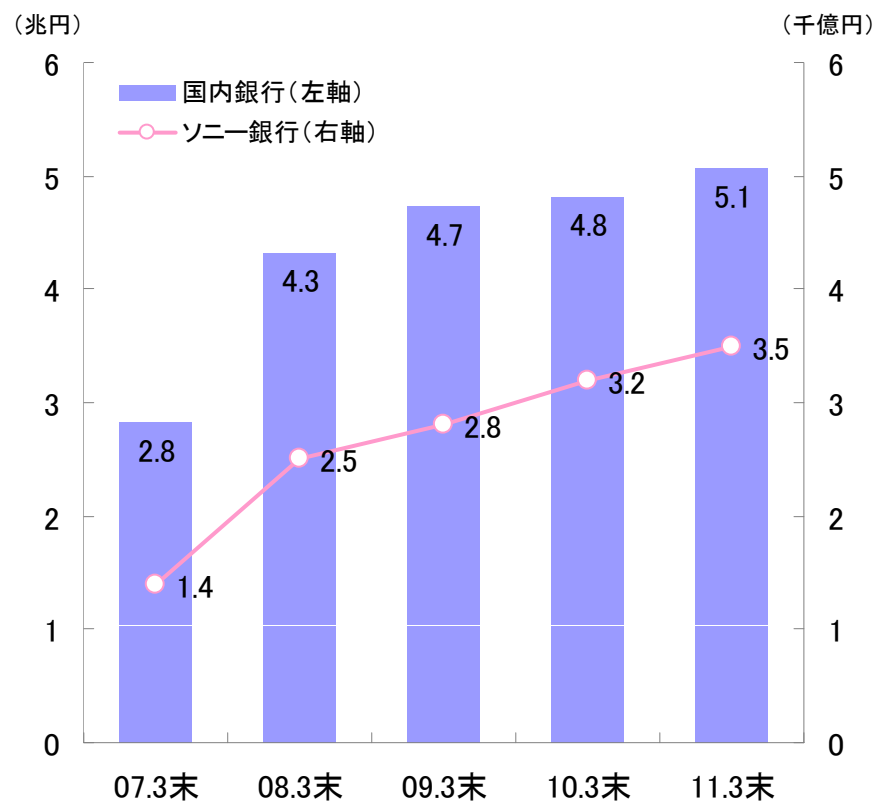
トップライン（業務粗利益）の推移



ソニー銀行：戦略商品の一層の強化① 外貨関連

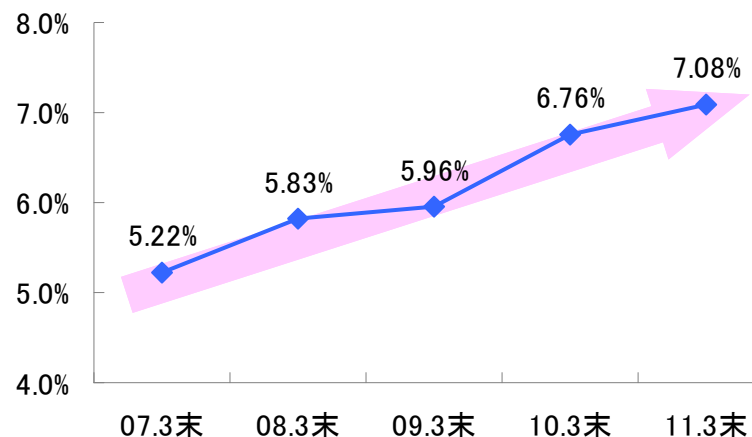
■ 通貨拡大、利便性の強化により、「外貨のソニー銀行」を盤石化

外貨預金残高推移



出所：日銀統計 個人外貨預金末残

高いシェアと外貨取引の利便性強化



「外貨ワールド™」の一層の充実

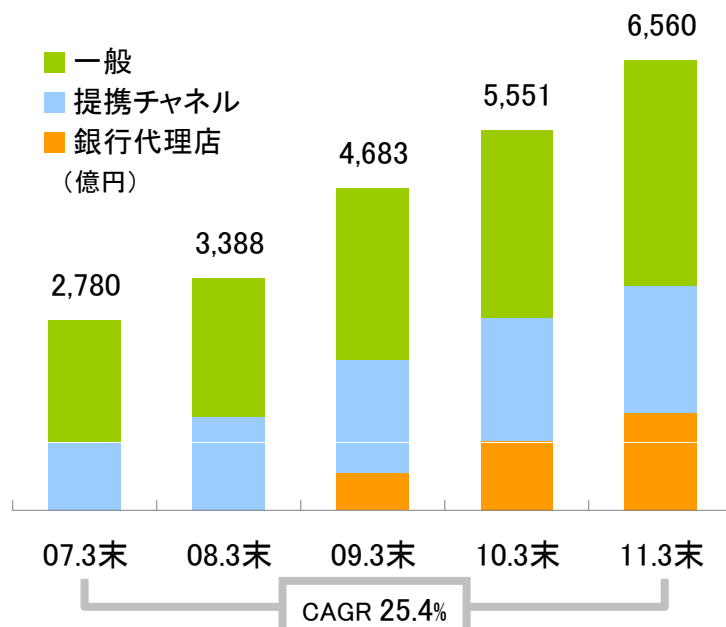
- 2通貨決済機能付クレジットカードの取扱開始 (2008年10月)
- 海外送金サービス開始 (2010年1月)
- 外貨宅配サービス開始 (2010年7月)
- 外貨預金「ブラジルリアル」の取扱開始 (2011年5月)

ソニー銀行：戦略商品の一層の強化② 住宅ローン



■ 良質な住宅ローンを軸としたアセットによる業容(バランスシート)の成長を促進

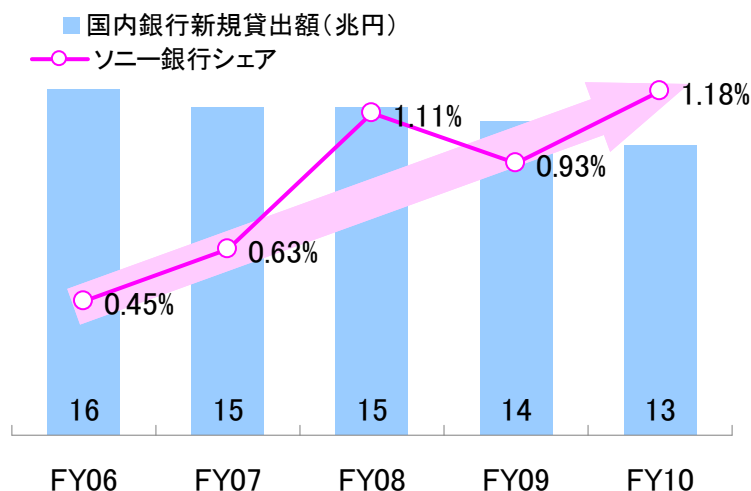
住宅ローンの残高推移



- 対面型相談窓口「住宅ローンプラザ」オープン(2010年6月)
- 住宅ローンの融資対象物件に中古マンションを追加(2010年9月)する等、対象を拡大
- 「変動セレクト住宅ローン」の取扱開始(2011年8月)

マーケットシェア拡大と「質」の両立

住宅ローン 新規貸出額シェア



◆不良債権比率(金融再生法開示基準)2011年3月末

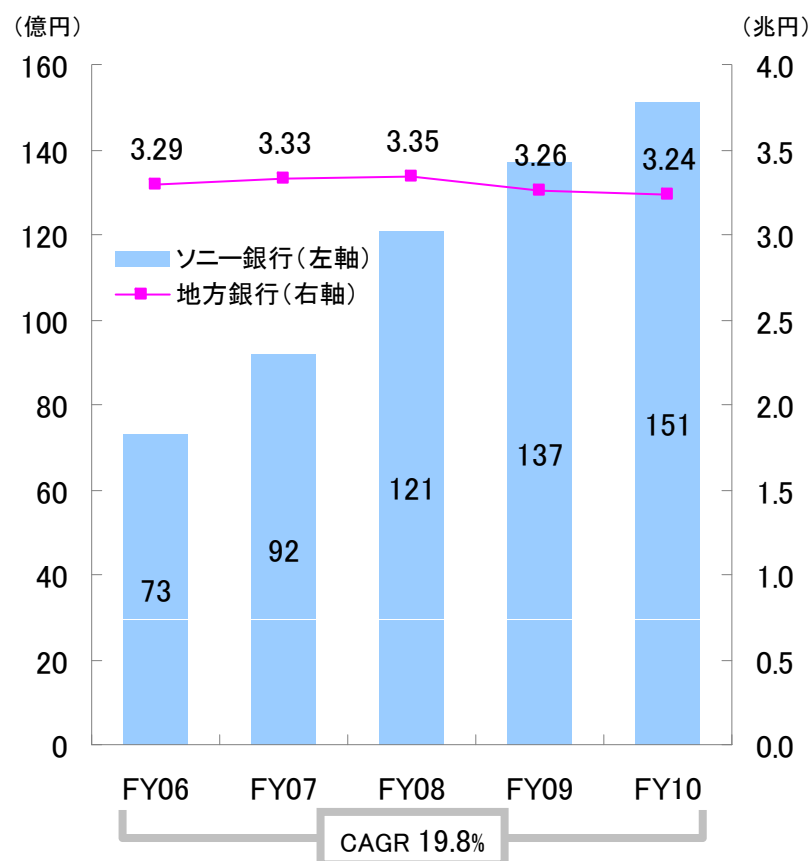
ソニー銀行	全国銀行	都市銀行	地方銀行
0.38%	2.41%	1.84%	3.03%

出所: ニッキンレポート

ソニー銀行：収益力の強化

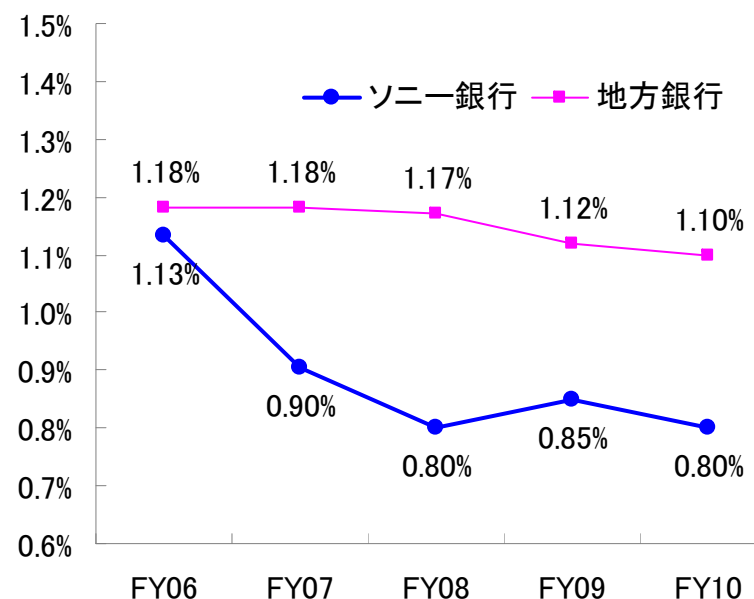
- 銀行業界全体の資金収支が縮小する中、ソニー銀行は業容(バランスシート)の成長による順調な資金収支の拡大を実現中

資金収支の成長維持



圧倒的な低水準の預金経費率を維持

※出所: 全国銀行協会「全国銀行財務諸表分析」



※預金経費率: 営業経費を預金等の期中平残で割った比率で、代表的な効率性指標。
低水準であるほど経営効率性が高いことを示す。

ソニー銀行 中期目標

	FY2010(末) (実績)		FY2013(末) (中期計画)
リテールバランス	2. 41 兆円		3. 49 兆円
業務粗利益	164 億円		286 億円
経常利益	33 億円		100 億円超

グループ連結中期計画

グループ中期経営目標 ①収益・利益

- トップラインは続伸。利益指標はFY11で底打ち、市況の影響を受けにくい、安定的な拡大へ

	FY2010 (実績)	FY2011 (業績予想)		FY2013 (中期計画)
連結経常収益	10,022 億円	10,220 億円	CAGR 6%超	11,560 億円
連結経常利益	768 億円	590 億円	CAGR 13%超	760 億円
連結当期純利益	417 億円	290 億円	CAGR 15%超	390 億円

グループ中期経営目標 ②修正ROE

- ソニー生命のMCEV拡大等により、連結修正ROEは7%台後半の伸展へ

	FY2010 (実績)		FY2013 (中期計画)
連結修正ROE	△3.1%	→	7%台後半
うちソニー生命(単体)	△3.8%		7%台後半
うちソニー損保	5.5%		10%台
うちソニー銀行(連結)	2.7%		7%台

(注) 修正ROEの算式は、以下のとおり。MCEVの割引率は、FY2010(実績)には金利スワップレート、FY2013(中期計画)には国債利回りを使用。

	分子	分母
ソニー生命(単体)	年間MCEV増加額に配当額を加えた値	(前年度末MCEV－配当額＋当年度末 MCEV)の平均値
ソニー損保	当期純利益＋異常危険準備金繰入額(税後) ＋価格変動準備金繰入額(税後)	(純資産の部＋異常危険準備金(税後) ＋価格変動準備金(税後))の期中平均値
ソニー銀行(連結)	当期純利益	純資産の部の期中平均値

資本政策・配当

- グループ各社の財務健全性と成長のための内部留保を確保しつつ、安定的な配当を実施する方針を維持

【資本政策】

	中期方針	(参考)FY2010末(実績)	
ソニー生命(単体)	■現時点で、資本増強の必要性はなし。 ■将来の資本規制の厳格化(経済価値ベース)の導入も考慮した、リスク管理を継続的に実施。	ソルベンシー・ マージン比率 ※	1,720.0%
ソニー損保			631.0%
ソニー銀行(単体)	■将来の成長に向け、バーゼルⅢの最終要請水準を意識した健全性を確保する。 また、資本効率の観点から、Tier1,Tier2のバランスに配慮する。	自己資本比率	10.84%

※平成22年内閣府令第23号、平成22年金融庁告示第48号により、ソルベンシー・マージン総額及びリスクの合計額の算出基準について一部変更(マージン算入の厳格化・精緻化等)あり。当該変更は、平成23年度末より適用。ソニー生命・ソニー損保の上表「FY2010末(実績)」数値は、いずれも当該変更を反映した場合の数値。

【配当】

中期方針	(参考)配当実績/予想		
		FY2010	FY2011
■当面、「安定的な配当」を維持 ■規制厳格化の方向性を注視しつつ、配当レベルを再検討。	通期配当総額	87億円	87億円
	1株あたり配当金	4,000円	20円 ※※

※※2011年4月の株式分割(1:200)を反映した数値

S F Hグループの中期事業展開

経営基盤の安定性と継続的成長の実現

- 今後も主要3事業のトップラインは拡大。
（連結経常収益はFY13にかけて年率6%超の成長。）
- 有価証券売却益減少による利益減はFY11で底打ち、
利益指標はFY13にかけて年率10%超の成長へ。
- 財務健全性を維持しつつ、
高い資本効率性（連結修正ROE: FY13目標 7%台後半）の実現を図る。

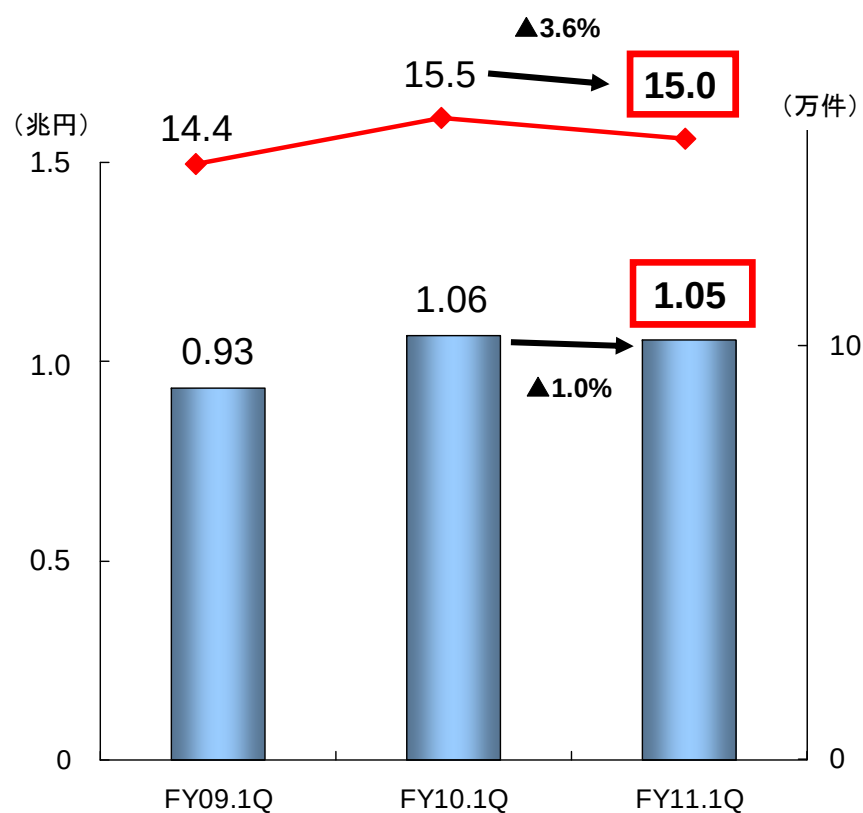
APPENDIX

2011年度第1四半期レビュー ソニー生命



新契約高・件数 (個人保険+個人年金保険)

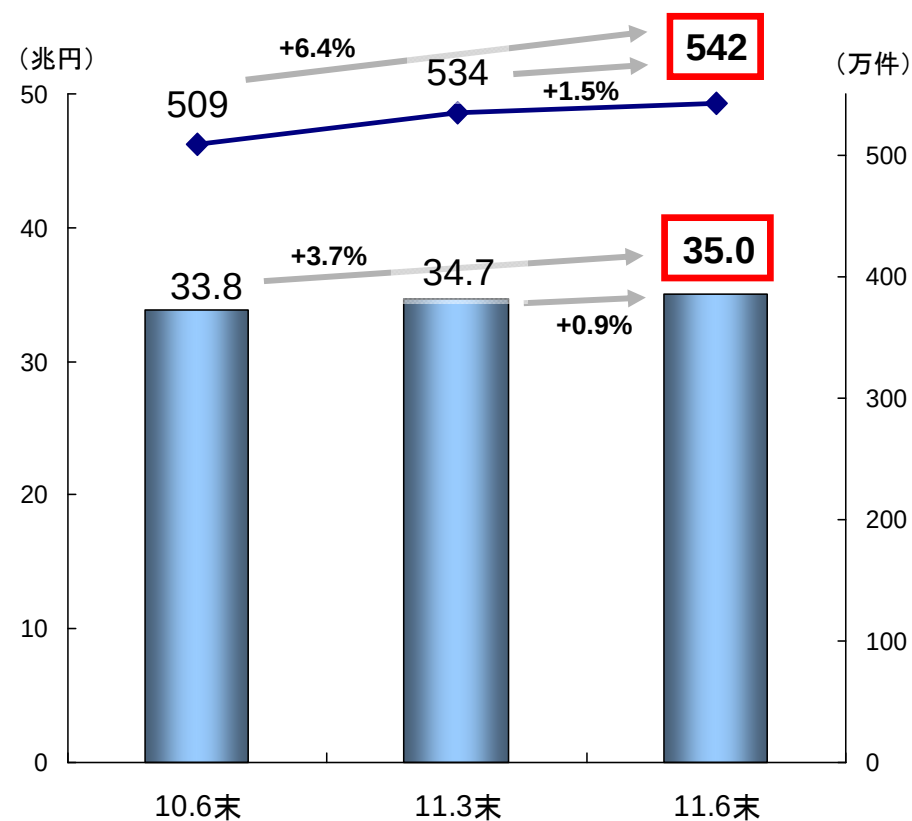
■ 新契約高 ◆ 新契約件数



※新契約高は百億円未満切捨て、新契約件数は千件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

保有契約高・件数 (個人保険+個人年金保険)

■ 保有契約高 ◆ 保有契約件数



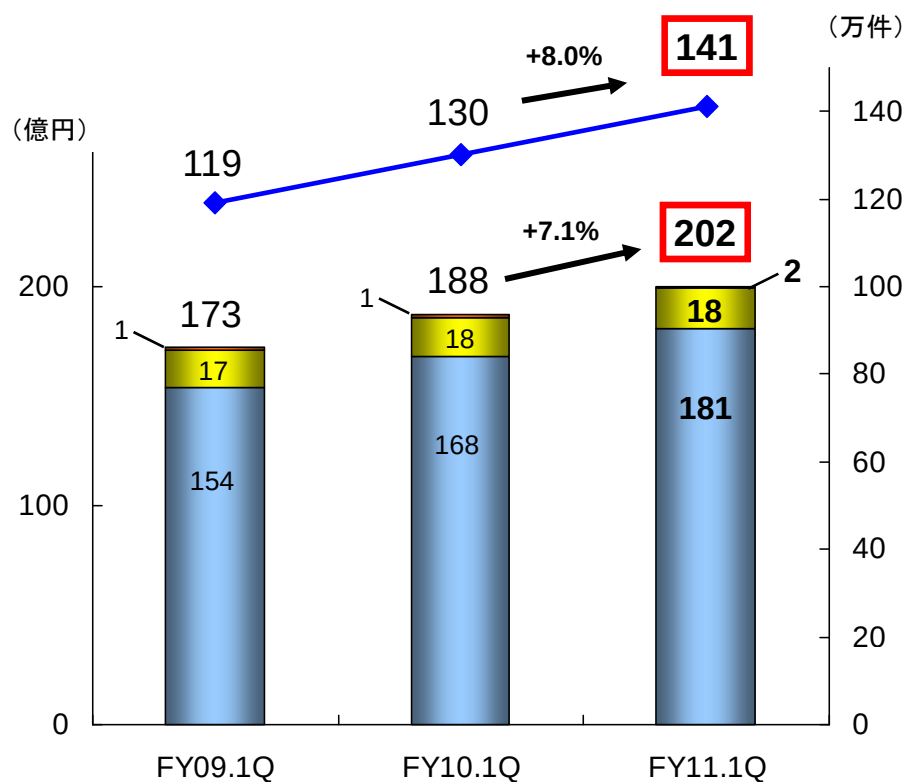
※保有契約高は千億円未満切捨て、保有契約件数は万件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

2011年度第1四半期レビュー ソニー損保



正味収入保険料と保有契約件数

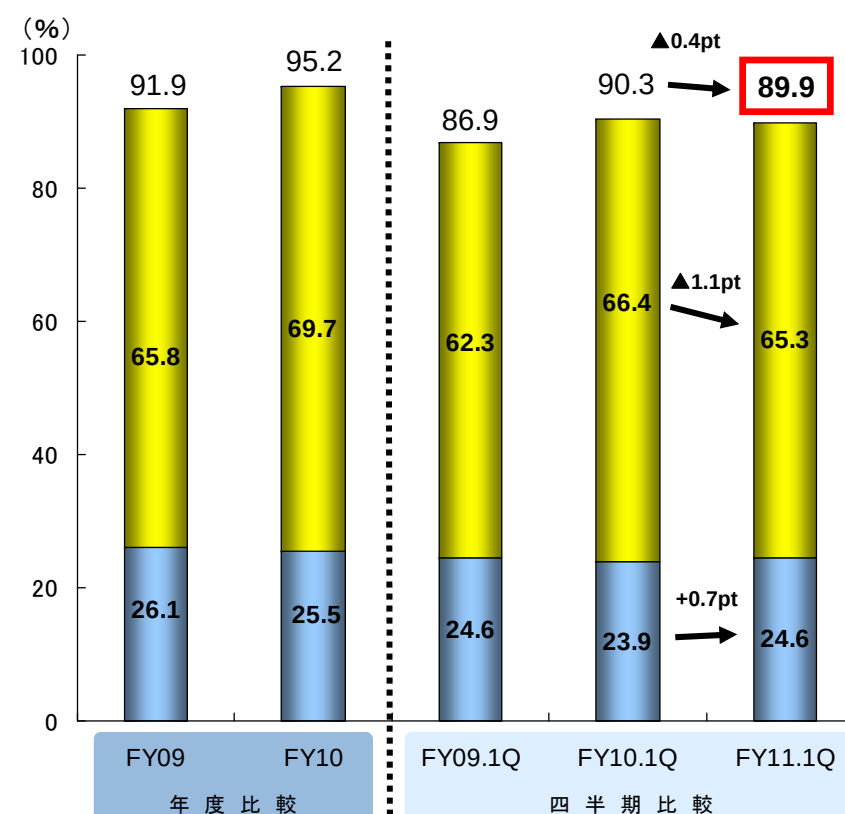
■ 自動車保険 ■ 傷害保険 ■ その他
◆ 保有契約件数



(注) 保有契約件数は、自動車保険とガン重点医療保険の合算値。
両方で正味収入保険料の99%を占める。
傷害保険の9割以上が、ガン重点医療保険である。

E.I.損害率 + 正味事業費率

■ E.I.損害率 ■ 正味事業費率



(注) E.I.損害率 = (正味支払保険金 + 支払備金繰入額 + 損害調査費) ÷ 既経過保険料
[除く地震保険、自賠責保険]

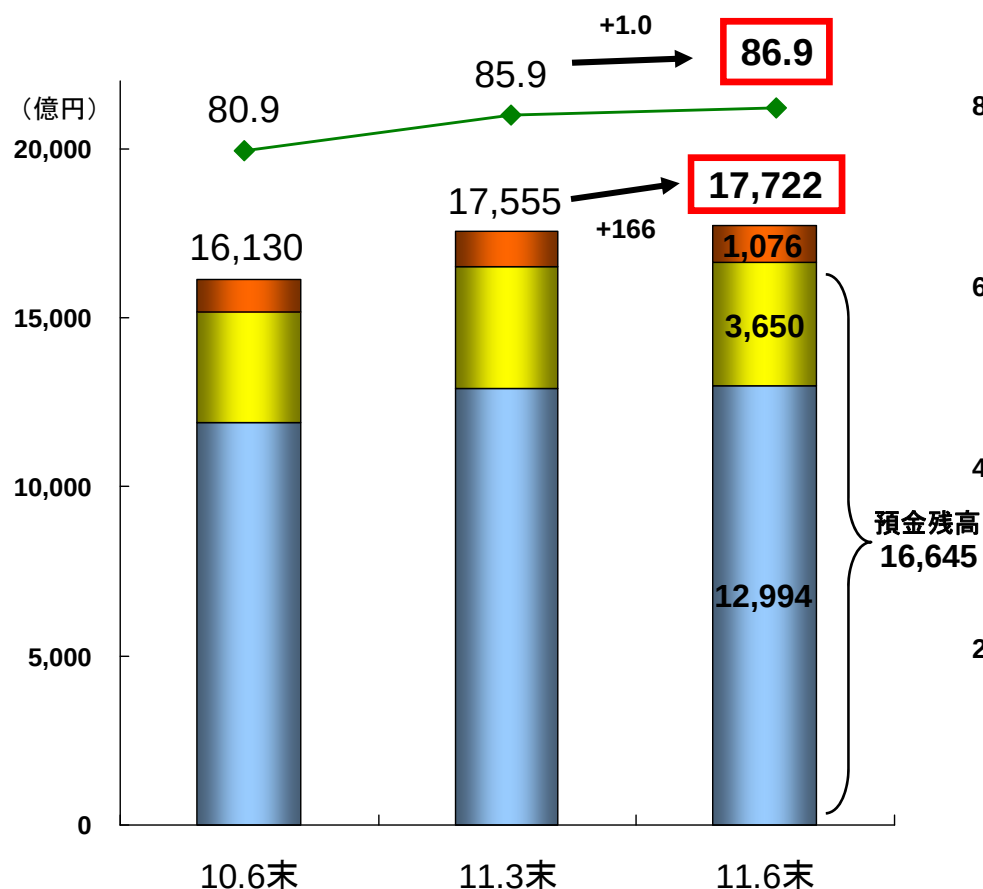
正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

2011年度第1四半期レビュー ソニー銀行



預かり資産残高(預金+投資信託)および口座数

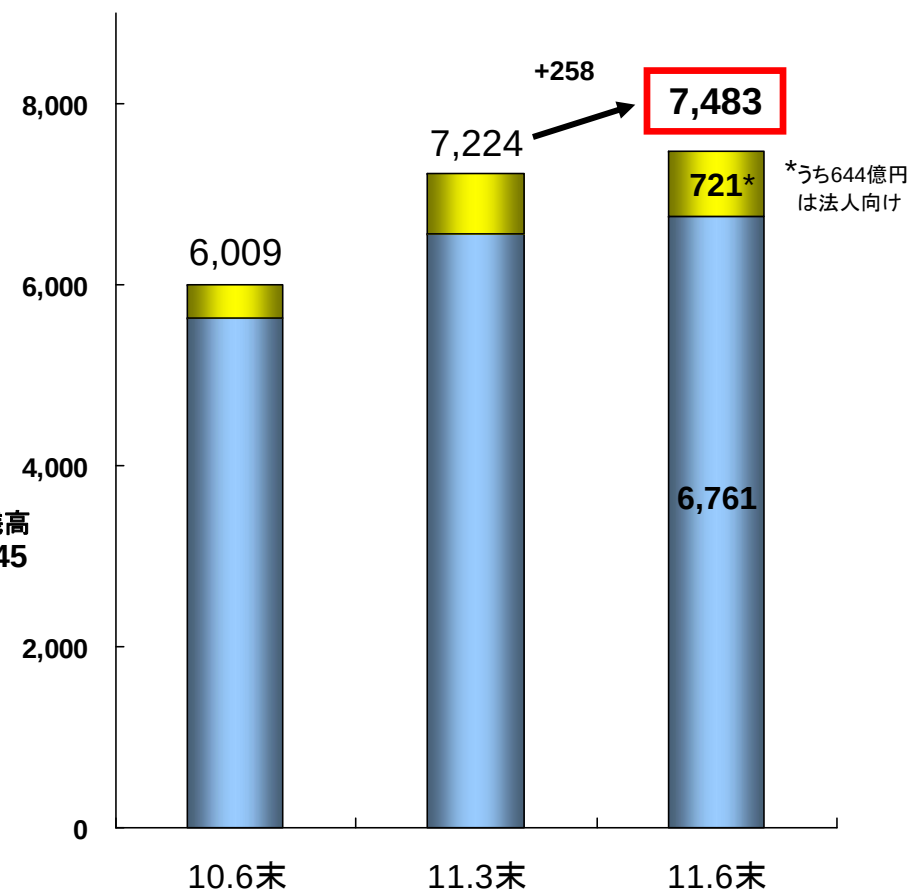
■ 円預金 ■ 外貨預金 ■ 投資信託
◆ 口座数(万件)



貸出金残高

■ 住宅ローン ■ その他

(億円)



*うち644億円
は法人向け

※金額は億円未満切捨て、件数は千件未満切捨てで表示



お問い合わせ先:

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
広報・IR部
TEL: 03-5785-1074